

11 月 2 日 : 大型株が軟調で反落

水曜日は大型株が軟調に推移し、今週 2 日の上昇ペースも続かず下落して引けた。

ホーチミン取引所の VN 指数は 1.02% 下落し、1,023.19 ポイントで引けた。同指数は今週 2 日間で 0.63% 上昇していた。

164 銘柄が上昇したのに対し下落は 273 銘柄で、終日下落基調で推移した。

ホーチミン取引所の出来高は 5 億 78 百万株、売買代金は 10 兆 74 百億ドン（4 億 23 百万米ドル）で、前日から流動性も減少した。

大型株が軟調だったことから、時価総額の大きい 30 銘柄で構成される VN30 指数は 1.24% 下落し 1,025.18 ポイントで引けた。うち上昇は 5 銘柄、22 銘柄が下落、3 銘柄は変わらずだった。

VN30 指数の中でも主力となる銀行、製造業の下げが大きかった。マサングループ（MSN）が 6.4% 下落した他、ビンコム・リテール（VRE）、テックコムバンク（TCB）、ベトコムバンク（VSB）なども 1.7~1.9% 下落した。

引けにかけては証券株が売られた。VN ダイレクト証券（VND）、サイゴン・ハノイ証券（SHS）、ベトキャピタル証券（VCI）、アグリバンク証券（AGR）、APG 証券（APG）などの下落幅が大きく、VN 指数の下落に拍車をかけた。

ペトロリメックス（PLX）、ペトロベトナム・テクニカルサービス（PVS）、ペトロベトナム・ドリリング（PVD）、ペトロベトナムケミカル・サービス（PVC）などのエネルギー株も下落した。

セクター別では、25 のセクター別指数のうち、保険、小売、銀行、卸売、建設、ゴム製造、物流、不動産、証券など 14 セクターで下落した。

ハノイ取引所では HNX 指数が 0.33% 下落し 211.66 ポイントで引けた。売買代金は 7,060 億ドン、出来高は 4,730 万株だった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。